

家庭でのインターネット利用

有害情報から子どもを守るには？

ネット上に流れる情報は多種多様で、便利な反面、子どもたちに触れさせたくない有害情報（暴力、麻薬、殺人、アダルトなど）を掲載しているWebサイトが数多くあるというのも事実です。近年、「自殺サイト」や「出会い系サイト」などが犯罪や事件などに結びつく事例が増えています。このようなサイトへのアクセスを制限したり、遮断したりすることができるのが、**フィルタリングソフト**です。

有害情報から、子どもたちを守るための一つの対策として、家庭でもフィルタリングソフトを導入する例が増えています。



今すぐできるフィルタリング



あらかじめフィルタリング機能が付加されている**子ども用の検索エンジン**を利用する。
I E (Internet Explorer)の「ツール インターネットオプション コンテンツ **コンテンツアドバイザーを有効にする**」

フィルタリングソフトを導入すると...

セックス、暴力、言語表現、ギャンブル、カルト、出会い、掲示板などのカテゴリーの中から、子どもに見せたくないものを選択して遮断することができる。

ブラックリスト機能 通常のフィルタリングにかからないサイトを個別に遮断する。

ホワイトリスト機能 通常のフィルタリングにかかるサイトのアクセスを個別に許可する。
ネット利用の時間を制限することができる。

フィルタリングソフトは万能ではない。全ての有害情報を遮断することができるわけではありません。子どもたちから、有害情報を遠ざけることができる役割だという認識を持つことが大切です。



<参考サイト> 財団法人インターネット協会

無償提供フィルタリングソフト <http://www.iajapan.org/filtering/>

<相談窓口> 岐阜県警サイバー犯罪対策室 サイバー犯罪110番

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s18879/hightec/hitecform.htm>

Point

情報に関する判断力の育成を...

有害情報に触れさせないフィルタリングも、大切な方策の一つですが、最終的には、子どもたちがインターネット上に氾濫する情報の中から役に立つ情報を選び出したり、他人と上手にコミュニケーションをとったりするスキルを身に付けることです。そのためには、子どもにインターネットの利用ルールについて教えたり、一緒に考えていったりすることが大切です。

